（様式１）

校　種	（小）・　中 どちらかに○	学校番号	２４	学校名	宇都宮市立平石北小学校

令和８年度　学校経営計画

１　教育目標

（１）基本目標

心身ともに健康で，自ら考え主体的に行動し，徳・知・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。

（２）具体目標（具体的な児童像など）

ア　思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）

イ　進んで学び自ら考える子（かしこく）

ウ　心と体をきたえる子（たくましく）

２　学校経営の理念

「地域と共に歩む学校」　児童と保護者と地域住民の思いを大切にし，地域の教育資源の有効活用を図りながら，創意工夫のある教育活動を実践する学校

３　学校経営の方針

（１）目指す学校の姿

ア　児童が主役の学校

イ　笑顔あふれる学校

ウ　安全・安心な学校

（２）目指す教職員像

ア　思いやりがあり協力し合える教職員

イ　進んで学び自ら考える教職員

ウ　心と体をきたえる教職員

（３）今年度の重点目標

ア　思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）

・不登校・いじめ問題等への未然防止・早期対応

・互いに認め合い高め合う学級経営の推進

イ　進んで学び自ら考える子（かしこく）

・宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」の実践

・「自分の考えをもち，ともに学び合う児童の育成」の追究

ウ　心と体をきたえる子（たくましく）

・体力･保健･食育・安全を一体とした健康教育の推進

（４）「平北プロジェクト」（本校教育の重点）の策定と全職員の参画による実践推進

プロジェクト１「さわやか生活プロジェクト」（心ゆたかで）：温かな人間関係の構築

プロジェクト２「いきいき勉強プロジェクト」（かしこく）：学校課題の推進

プロジェクト３「すくすく体プロジェクト」（たくましく）：健康な体作りと食育

プロジェクト４「人や自然との触れ合いプロジェクト」（特色ある学校づくり）：地域連携

［鬼怒地域学校園教育ビジョン］

自分でよく考え　　未来に向かって　　たくましく生きる子供の育成

（５）業務量管理・健康確保措置の実施

教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務し，質の高い教育を行うため下記の目標を掲げ，働き方改革を推進する。

【目標】
1　教員の時間外在校等時間を１か月で４５時間以内，１年間で３６０時間以内とする。
（令和１４年度末）
2　児童生徒と向き合う時間を確保できている教員の割合９０％を目指す。（令和１４年度末）
3　時間外在校等時間が１か月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す。（令和９年度末）

４　教育課程編成の方針

社会に開かれた教育編成のため，カリキュラムマネジメントの視点から，一貫性，相互関連性のある教育課程・各種年間指導計画を作成し，教育活動を展開する。

（１）各教科の教育内容を相互関係でとらえ，教科横断的な視点で内容を組織的に配列する。

（２）子供たちの姿や地域の現状に基づき，教育課程を PDCA サイクルで実施改善する。

（３）小規模校の特性を生かし，教育内容と地域等の外部も含めた人的・物的な資源を効果的に組み合わせる。（体験活動・出前授業・ボランティア活動・平北ファーム・幼小交流活動　等）

５　今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇）

（１）学校運営
- 学校マネジメントシステムを生かした活気あふれる学校づくりの推進
- 育てたい児童の姿を明確にした教育活動の充実
- 業務の効率化を意識した働き方の推進
- 教職員一人一人のキャリアアップと高い同僚性を十分に生かした組織力の向上

（２）学習指導

〇・　自分の考えをもち，ともに学び合う児童の育成～言葉で考える，言葉でつながる，言葉で成長する～

（３）児童生徒指導
- 規範意識を高め，多様性を認めて支え合い，安心して過ごせる集団づくり

〇・　互いを認め合い，励まし合う指導を通した，自己肯定感や自己有用感の育成

（４）健康（体力・保健・食育・安全）
- 自ら進んで安全な生活を送り，心と身体の健康づくりに取り組む児童の育成

６　学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※　様式２～４参照

７　特色ある学校づくり等に関する取組（平北プロジェクト４）

（１）育てたい資質・能力

「地域や自然を愛し，人との触れ合いや交流活動を通して，社会性を身に付けた子どもを育成する」

ア　地域の自然や人材，施設を教育活動に積極的に活用し，生命尊重の精神や豊かな心（人間性），集団や社会の一員として大切な態度（社会性）などを育成する。

イ　人との多様な交流を通して，自分を見つめるとともに，自己の生き方を考えさせる。

ウ　体験活動等を通した学習により，主体的に学ぶ力と学ぶことの楽しさや成就感を体得させる。

（２）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

ア「生命を尊重する心」や「他を思いやる心」など，豊かな心を育てるための教育活動の充実

◇・　教科……人や自然との触れ合いを重視した体験的な学習等の充実　など

・　特別の教科　道徳……考え議論する授業，自分のよさを知り生き方を考える学習　など

・　学校行事・児童会活動…運動会・児童集会（新入生歓迎会・６年生を送る会等）での交流，各委員会主催の集会での交流　など

・　総合的な学習の時間……身近な地域を知り，日本・世界へ関心を高める学習（３年～）など

・　宇都宮学……地域資源・教材を活用した，郷土への愛着を育む指導の充実

・　なかよし班活動……縦割り班による，学校農園活動・清掃・給食・行事・遊び等の活動

・　飼育栽培活動……各学年での飼育栽培活動や，教材園における作物栽培（全学年：学校行事・生活科・理科）

・　読書活動……豊かな感性を育てるための読書活動の充実

・　小中一貫教育……地域学校園小中学校での交流，特別支援学級間での交流

イ　地域の教育資源の活用や専門性をもつ外部講師の活用，学校支援ボランティアの活用

◇・　校外学習の充実（生活科・社会科・理科・総合的な学習の時間等）

・　幼稚園との交流活動（生活科・総合的な学習の時間）

◇・　専門的な外部講師による出前授業の実施（各教科・学校行事）

・　生き方講演会の実施（キャリア教育との関連）

・　学校支援ボランティア・街の先生の活用，地域協議会への連携協力依頼

ウ　特色ある学校づくりについての地域への啓発及び協力依頼

・　教育活動の成果発表……学校公開・音楽集会・運動会･ＰＴＡ文化祭・地域行事への参加

・　学校だより・学年だより・各種たより等の発信，ホームページによる発信

８　本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①　基本的な考え

保護者はもとより祖父母等の家族が代々本校出身である家庭も多く，学校への関心や期待が大きい地域性であるため，学校が積極的に情報を発信し，学校経営の方針や児童の様子を伝えることが重要である。また，地域協議会委員の積極的な教育活動への参画を促していく。

②　主な取組

・　学校だよりや各種たより，ホームページの活用による積極的な情報発信

・　学校支援ボランティアによる体験活動（学校農園活動・昔遊び体験　等）

・　地域人材の発掘（消防団関係・戦争体験・フラワーアレンジメント等）

・　地域協議会による親子体験教室や親学講座等の継続実施

（２）小中一貫教育・地域学校園

①　基本的な考え

児童や生徒の実態を踏まえて，さらなる基礎学力の向上を図るとともに，じっくり考え，伝え合う力を育てる。また,通常の学級と特別支援学級の連携，通常の学級における特別な配慮を要する児童生徒についての情報交換をもとに，一人一人に寄り添った指導を心掛ける。

② 主な取組

・ 児童一人一人のよさを認め励ますことで，自信や自己有用感・自己肯定感を高める指導
・ 「めあて」の効果的な提示と振り返りの時間の確保，自分の考えを書く活動と説明や話合いを関連付けた指導（宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」を意識した授業の展開）
・ 授業の約束・準備や着席，よい返事や言葉づかい等の学習規律の確立
・ 望ましい生活習慣の定着に向けた指導と，「ひらきたよい子の１日チェックリスト」の活用
・ 学習と生活に関する「プロジェクトチーム」による評価とマネジメント及び全教職員による共通理解に基づく指導

（３）不登校対策

① 基本的な考え

本地域学校園にとって「不登校対策」は大きな課題である。新たな不登校を生まないために，全教職員が日頃から児童に対してこまめな声掛けをするとともに，児童の様子や行動における小さな変化に着目し，全職員による組織的な対応と家庭との連携を進めていく。

② 主な取組

・ 基本的な対応「１日休んだら電話連絡　２日続けて休んだら家庭訪問」の徹底
・ 児童の自己肯定感を高め，互いを認め合うような居心地の良い学級づくりの推進
・ 「欠席状況共有シート」やQU等を活用した客観的情報の共有化と，PDCAサイクルを意識した組織的・継続的な支援の充実
・ ＳＣの活用や，保護者との情報や支援策の共有による連携強化
・ 必要に応じた迅速なケース会議の開催による組織的な対応
・ 教育相談の実施による，児童一人一人と向き合い，気軽に相談できる機会の確保

（４）GIGAスクール構想

① 基本的な考え

教育活動を進める上で必要な情報の多くはデータ化されている。それらの情報を効果的に正しく活用するための目的や方法を正しく学び，日々変化していく環境に適応する力を身に付ける。

② 主な取組

・ GIGAスクール構想の目的や教育活動への取組に関する教職員研修の実施
・ プログラミング教育やICT活用の見直しと教科等の年間指導計画への位置付け
・ １人１台端末の家庭学習での活用や授業参観時の活用を通した，保護者の理解促進
・ 情報モラル教育及びデジタル・シティズンシップ教育に係る教職員の指導力向上と指導の充実

（５）宇都宮学

① 基本的考え

本校の特色である地域を学び地域を愛する活動と関連付けながら，郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて理解し，郷土への愛情と誇りをもてるようにする。

② 主な取組

・ 社会科（３・４年）及び総合的な学習の時間（５・６年）の年間指導計画へ位置付けた上での計画的な授業実践
・ 宇都宮の伝統を学ぶ「ふくべ細工づくり」や「戦争体験談」などの講話，民話を聴く機会など，体験を通して学ぶ機会の設定
・ 児童が学習の成果を発表できる場の設定の工夫